

党大会の成功を受け、「大運動目標」達成へ全力を

第27回党大会が、大きな成功のうちに閉会しました。参加した各県の代議員・評議員は党大会の感動を胸に意気高く各地に戻っています。

志位委員長は「結語」で「1月末までに大運動目標を総達成しよう」と呼びかけました。党大会決定の報告・学習を力に、1月末に向けて全力を挙げましょう。

中国ブロックの各県・地区では、党大会直後の21日・22日に「つどい」を開くなど取り組みが始まっています。

倉敷市議選 4人全員当選 各地からの支援に感謝



今年最初、そして第27回党大会直後の投票となる倉敷市議会議員選挙で、日本共産党は激戦の中、現有4議席を確保しました。(現職2人、新人2人)

市議選は、党大会での野党共闘の様子がテレビや新聞で報道され、日本共産党への期待と関心が高まる中での選挙でした。

また、中国ブロック内では、広島市・岡山市に続いて第3の都市です。「ここでの勝利は、比例選挙での前進に欠かせない」と中国ブロックの各

県からの支援体制も組んでの取り組みでした。(写真は、握手している左から末田正彦、田辺まみ、田口明子、田辺昭夫の各議員)

岩国基地 アメリカの艦載機移駐は撤回を 岩国市委員会・県議団・市議団が申し入れ

日本共産党岩国市委員会、山口県議団、岩国市議団は17日、中四国防衛局に対して「空母艦載機部隊の移駐開始や早期警戒機の先行移駐を防衛省が一方的に発表したことは、住民の意思も山口県や岩国市の意思も全く顧みないもの。撤回すべきだ」と申し入れました。

岩国基地問題では、市民と野党の共同した運動が広がっています。(写真は、岩国基地周辺で抗議する市議団や市民団体)

